

若者目線で釣り振興

若者の視点で新たな魚釣り愛好者を増やそうと、浜松市中区の専門学校浜松デザインカレッジは17日、釣り振興のアイデア発表会を同校で開いた。釣り具販売のイシグロ(同区)との産学連携事業で、同校の3年生27人が親子や女性への普及をテーマに独自の事業案を披露した。

浜松デザインカレッジ生

グラフィックデザイン科の9チームが約半年間練ったアイデアを発表し、ヨガと釣りの連動企画を提案した。同チームの4人はウナギなどの魚をイメージした体

釣り人口増に向けた若者目線のアイデアが示された発表会
＝浜松市中区の浜松デザインカレッジ



イシグロ(中区)に独自事業案

の動かし方を紹介し、ヨガを通じて魚や釣りへの興味を高めるプランを提示した。小坂温子さんは「コロナ禍の現状も踏まえ、親子のコミュニケーションを深める案を考えた。評価されてうれしい」と喜んだ。

他チームからも、若い女性向けに釣りの魅力をアピールする冊子を作る案や、子ども向けに魚をデザインしたかわいらしいシールを配布する案など多彩なアイデアが出た。

イシグロは事業化を視野に発表会の内容を精査する。審査に当たった同社の石黒陽専務は「自由で幅広い切り口の提案が続き面白かった。皆さんの学習の成果を形にできるようにしっかり協議したい」と話した。

(浜松総局・高松勝)